

こんにちは!!
市長です

Vol.51

「フードドライブ」



提供いただいたお米を手

1月25日から3日間、市役所本庁舎市民ホールで「フードドライブ」を行いました。フードドライブとは、家庭や職場などで余った食品を持ち寄り、必要な人へ寄附する運動のことです。「食品ロス0!!」へ向け、市

が昨年制定した、『もったいない条例』に基づいて具体化した施策の一つです。

受け付け開始と同時に、多くの市民の皆さんから、お米やお菓子、カップ麺など、たくさんのお食品を提供していただきました。市も、防災備蓄品で消費期限が近い液体ミルクや缶詰パンなどを提供しました。集められた食品は、NPO法人を通じて地域の福祉施設や子ども食堂などへ届けられます。

統計によると、国内では、年間600万トンの食品ロスが発生しています。日本人は、毎日1人お茶碗1杯分のご飯を捨てていることになるそうです。一方で、世界では、6人に1人の子どもが、貧困で食事に困っているといわれています。

令和元年度の渋川市民1人当たりのごみ排出量は、年間約1.1キログラムで、12市中2番目に多くなっています。食品ロスを含むごみの焼却により発生する二酸化炭素は、地球温暖化の大きな要因の一つです。今一度皆で食品ロスについて考え、自分にできることから行動を起こしましょう。フードドライブを通し、「もったいないの心」を持った社会の輪が広がるといいですね。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎3215)

美術の小窓

《待っていた日》

藤倉久美子作
2010年

高さ:38cm 素材:ブロンズ



物思いにふけりながら何かを待っている様子。人を待っているのか、何か出来事を思い描いているのか……丸みを帯びた容姿は、緩やかな時を想像させてくれます。現在開催中の「常設特別展」で、紹介しています。

●移転と臨時休館のお知らせ

市美術館は、3月31日(木)をもって現在の場所での開館業務を終了し、市役所第二庁舎の1階西側部分へ移転します。美術館として活用するための改修工事に伴い、1年間の臨時休館となります。

●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設特別展 桑原巨守と教え子たち	～3月31日(木)	200円

■開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●2月の休館日 1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)

泰平の世が訪れた江戸時代、武士の多くは城下町に集住し、村は農民が自治運営するようになります。

1783(天明3)年8月初め、浅間山が大噴火を起こします。大量の火山灰が降り、北側には鬼押し出し溶岩流が流れ下りました。さらに、大規模な土石なだれが鎌原村を襲ったのち、吾妻川に流れ込みます。吾妻川や利根川の流域では大規模な泥流が発生し、沿岸の村々は大きな被害を受けました。

渋川市域では、この天明3年の泥流直下で江戸時代の遺跡が発見されています。中村遺跡では当時の畑や道跡が調査されました。畑には大豆が植えられていて、発見時にはまだ豆の青みが残っていました。中村久保田遺跡では水田跡が発見され、泥流で倒された稲株の痕跡や田の草取りの足跡、指跡がリアルに残っていました。



中村遺跡の畑跡。畑境に桑が植えられている

古を訪ねて 47 天明の浅間山大噴火